

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金推進計画 (素案)

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金推進要綱（以下「要綱」という。）第2条第3項の規定に基づき、寄附を通じた第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」と総称する。）への参加を促進するため、次のとおり計画的かつ戦略的に募金を推進するものとする。

1. 推進体制

開催準備委員会の構成員は、各々の会員や加盟団体等に募金の周知を図るとともに、寄附の呼びかけを行うものとする。また、募金に係る広報活動等の取組についても連携協力して行うものとする。

2. 推進に向けた視点

次の3つの視点に基づき、取組を推進する。

(1) 「寄附したくなる仕組みづくり」

滋賀や大会を応援したいという思いの醸成を図る。

(2) 「寄附しやすい仕組みづくり」

寄附しようと思った時に、手軽に、かつ気軽に寄附できる環境を整備する。

(3) 「2024年まで持続する仕組みづくり」

長期間にわたる募金を持続させるために必要な工夫を行う。

3. 具体的な取組

(1) 様々な募金活動の展開

ア 個人

- ・ 県内の方をはじめとして、県外在住の滋賀ゆかりの方にも寄附を呼びかける。
- ・ 大会記念物品等の購入を通じた寄附を呼びかける。
- ・ 公共施設や民間施設に募金箱を設置する。また、募金箱については、スポーツイベントをはじめとする各種イベント時にも設置するなど寄附機会の拡大を図る。
- ・ 駅や商業施設等において、街頭募金を原則として年に1回実施する。
- ・ 上記のほか、必要となる取組を実施する。

イ 企業・団体

- ・ 県内の企業・団体をはじめとして、県外の滋賀ゆかりの企業・団体についても直接訪問するなどにより寄附を依頼する。また、県内に事業所等があり県外に本社がある企業については、必要に応じ本社を訪問して寄附を依頼する。
- ・ 寄附については、通常の寄附のほか、寄附付き商品の販売、主催イベントの参加

料や運営する施設の利用料に寄附を含める方法などについても協力を依頼する。

- ・ 職場募金への配慮を依頼する。
- ・ マスコットキャラクターのグッズ販売等について協力を依頼する。
- ・ 上記のほか、必要となる取組を実施する。

(2) 戦略的な広報活動の展開

- ・ インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物等の多種多様な媒体を活用して戦略的に広報を行う。また、必要に応じ大会開催のプレイメント等との連携を図る。
- ・ 広報に当たっては、選手の動向や思いを発信するなどにより、募金の趣旨に共感してもらうための工夫をする。
- ・ 寄付について税の優遇措置があることを周知する。

(3) 学校との連携協力

- ・ 県内の大学をはじめとした各種学校と連携協力し、若い世代による募金を含む大会全般を盛り上げる取組を実施する。（例：募金箱コンクール、広報物のデザインコンテスト、募金アイデアコンペ等）
- ・ 大学生等に対しては、下記（5）のサポーターへの登録を呼びかける。

(4) 滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼

- ・ 各種広報活動やイベントへの出席等について協力を依頼する。
- ・ グッズ等の「モノ」のほか、一緒に何かをする権利等の「コト」の提供についても協力を依頼する。

(5) サポーター制度の導入

- ・ 個人や企業・団体を問わず、募金に限らず大会全般を応援するサポーター制度を導入する。

(6) 寄附への謝意表明

- ・ 一定額以上の寄附者に対しては、礼状の送付その他の方法で謝意を表明する。
- ・ 同意がある場合は、インターネットや開催準備委員会の総会等を通じ、氏名または名称を公表し、その厚意を讃える。

(7) 結果のフィードバック

- ・ 寄附金を充当した事業の実績や成果について、レポートを作成しインターネット等を通じ公表することなどにより、寄附者に報告する。

(8) 様々な支払手段の設定

- ・ 募金専用納付書の作成や、募金箱の設置、クレジットカードによる寄附、その他インターネットを活用した寄附など様々な支払手段を設定し、手軽に、かつ気軽に

寄附できるための環境整備を図る。なお、寄附金は滋賀県が受け入れるため、募金箱を除いて、滋賀県において可能な限り導入できるよう努めるものとする。

(9) メリハリをつけた推進

- ・ 週単位または月単位の取組集中期間を設ける。
- ・ 取組の開始時期をあえてずらしたり、進捗状況等を踏まえて刺激となる新たな取組を追加するなどにより息切れを防ぐ。

4. 推進計画の進行管理

推進計画については、取組の進捗状況等を「募金・協賛推進特別委員会」において毎年検証するとともに、要綱第2条第4項の規定に基づき、必要があるときは、開催準備委員会の総会の議決を経て変更する。

	H27 (2015) 9年前	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) -	
					開催内定		開催決定		ハ・州大会	開催	
	スタート・ダッシュ			キープ				スパート			
(様々な募金活動の展開)											
企業・団体											
寄附の呼びかけ	県内の企業・団体や滋賀にゆかりを持つ県外の企業・団体に対し、直接訪問や依頼状送付などにより寄附を依頼 県内に本社がない企業については、必要に応じ本社を訪問するなどにより寄附を依頼										
寄附付き商品の販売、イベント参加料や施設利用料に寄附を含む方法などへの協力依頼	直接訪問等により協力依頼			対象商品、イベント、施設の拡大を目指して協力依頼				さらなる拡大を目指して目指して協力依頼			
マスコットグッズ販売の協力依頼					ぬいぐるみなどのグッズの販売を依頼				グッズの種類や、協力企業数の拡大を目指して協力依頼		
戦略的な広報活動の展開	インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物など多種多様な媒体により戦略的に広報を行う										
					内定イベントとの連携		決定イベントとの連携		1年前イベントとの連携	開催イベントとの連携	
学校との連携	関係機関等と調整	小学生による募金箱コンクール									
				広報物デザインコンテスト、募金アイデアコンテストなど							
滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼	直接訪問により協力を依頼							さらなる拡大を目指して協力を依頼			
応援サポーター	制度検討	登録の呼びかけ	登録者数の増加を目指して登録の呼びかけ				大会ボランティアにつながることも踏まえ、更なる登録者数の増加を目指して登録の呼びかけ				